

2012年1月4日

**東京急行電鉄 代表取締役社長 野本弘文 社員への年頭メッセージ【要旨】**

東京急行電鉄株式会社

1. 日 時 2012年1月4日(水) 10時10分

2. 要 旨

安全の確保は、お客さまの生活を支える事業を営む者として最大かつ最重要の責務であり、また、お客さまが東急ブランドに寄せる「信頼」の源泉です。今後も「事業継続」の観点から、マネジメント体制を強化するとともに、安全対策の高度化についても検討を進めていく必要があります。引き続き、事故・トラブル発生を想定した各種訓練や連絡報告体制の整備を着実に実施し、第一線の皆さんのみならず、全社員が安全に対する意識を高く維持し、事故の未然防止に努めていただきたいと思います。

さて、昨今の社会経済情勢に目を向けますと、わが国は先の大震災以降、新年を迎えましても、先行きが極めて不透明な状況であると言わざるを得ません。そのような中、当社は、皆さんの努力によって、2011年度予算を概ね達成する見込みです。また、2010年度から始まった中期2か年経営計画も、重点取り組み課題である「コア事業の収益力強化による成長」「資産ポートフォリオおよびグループ事業ポートフォリオの徹底」そして「全社的な事業の効率性追求」については、途上のもものありますが、大きく進捗させることができました。

各事業について、鉄道事業では、2012年度の東京メトロ副都心線との相互直通運転に向け、渋谷～代官山間の東横線地下化工事が順調に進んでいます。不動産事業では、一昨年から昨年にかけて、大規模拠点開発プロジェクトが竣工・開業しました。また、新たな事業への取り組みとして、事業の視点を国外へと広げ、ベトナムのホーチミン市郊外での都市開発事業の検討を開始しました。今年も、新たな大規模開発として二子玉川東地区再開発事業の第二期の工事が着工する予定です。二子玉川を「働きたい街、日本一」にするためにも、二子玉川がお洒落で創造力をかきたてる、より魅力ある街に成長することを期待しています。そして4月には、渋谷駅周辺開発事業のリーディングプロジェクトである「渋谷ヒカリエ」が開業し、また、東急百貨店が渋谷ヒカリエに出店する新しい商業施設「ShinQs(シンクス)」も同時に開業を迎えます。さらに、7月には、東急シアターオーブの柿おとし公演、「ウエストサイドストーリー」の上演が始まります。

これらを踏まえて、現在、2012年度を初年度とする中期経営計画の策定を鋭意進めているところで、東急線沿線を日本で一番「住みたい沿線」にすること、渋谷を日本で一番「訪れたい街」にすること、二子玉川を日本で一番「働きたい街」にすることを目指す「三つの日本一」、そして「一つの東急」というビジョンに向かって各部門および連結各社が有機的に結びつき、トータルバリューを最大限、発揮していくことが大切です。

安全と信頼を何よりも大事にしながらも、変化に鋭敏で、創造(想像)力豊かな企業グループを目指し、今年一年、皆さんと共に頑張っていきましょう。

以 上